

第 17 回非静力学モデルに関するワークショップ プログラム (最終校正: 2015/11/16)

日時: 2015 年 12 月 1 日(火)-2 日(水)

会場: 那覇第一地方合同庁舎 共用大会議室

主催: 日本気象学会非静力学数値モデル研究連絡会、琉球大学

後援: 気象庁、日本気象学会沖縄支部

講演時間は全て 20 分 (講演 15 分+質疑 5 分) です。

2015 年 12 月 1 日

9:30 開会のあいさつ 山田広幸 (琉球大)

9:40~11:40 6 件 台風・低気圧 (座長: 金田幸恵)

[予稿集ページ番号]

大泉伝 (JAMSTEC) スーパーコンピュータ京を用いた NHM の高解像度実験	1
伊藤純至 (気象研) 京コンピューターによる台風全域ラージ・エディ・シミュレーション	3
金田幸恵 (名大) 非常に強い台風の二つの強化プロセス	5
加藤雅也 (名大) 放射過程が台風強化に与える影響	7
山田広幸 (琉大) 台風の進路に対する非対称構造の役割—台風 Fengshen (2008) の事例解析—	9
柳瀬亘 (東大) JMA-NHM を利用したハイブリッド低気圧の理想化実験	1 1

11:40~13:00 昼食

13:00~14:20 4 件 集中豪雨・突風・大雪 (座長: 林修吾)

加藤輝之 (気象研) 平成 26 年 8 月 20 日広島での大雨をもたらした線状降水帯の再現性と発生要因	1 3
林修吾 (気象研) 2014 年 6 月 24 日に調布・三鷹に激しい降雹・落雷をもたらした積乱雲の発生発達過程	1 5
佐々木ありな (京大) 冬季、山形県庄内平野における強風の解析	1 7
岩崎俊樹 (東北大) 寒気流出に係わるメソスケール現象	1 9

14:20~14:40 休憩

14:40~15:40 4 件 モデル開発 (座長: 西澤誠也)

草開浩 (気象庁数値予報課) 改良した陸面モデルによる地表面フラックスの検証とモデルの改良	2 1
武村一史 (京大院理) 重合格子法により地形表現を行う気象モデルへの雲微物理過程の実装	2 3
西澤誠也 (理研) 移流方向を考慮した FCT の改良	2 5
伊賀晋一 (理研) 全球非一様格子の開発 (cancelled)	

15:40~16:00 休憩

16:00~17:20 4 件 全球雲解像モデル (座長: 宮川知己)

和田章義 (気象研) 複数の次世代非静力学全球モデルを用いた高解像度台風予測実験	2 7
宮川知己 (東大) NICAM MJO 実験の解像度依存性	2 9
中野満寿男 (JAMSTEC) 全球非静力学モデルによる BSISO と北西太平洋域の台風発生数の将来変化	3 1
寺崎康児 (理研) NICAM-LETKF に おける衛星輝度温度及び降水量同化	3 3

2015年12月2日

9:20~10:40 4件 データ同化 I (座長: 前島康光) [予稿集ページ番号]

前島康光 (理研) 4次元 NHM-LETKF による局地的豪雨の予測精度と計算時間の比較	3 5
伊藤耕介 (琉大) 極端現象予測の観点から見たデータ同化手法比較	3 7
福井真 (東北大) 従来型観測のみを用いた日本域再解析システムの開発	3 9
幾田泰醇 (気象庁/気象研) asuca ハイブリッドデータ同化システムにおける高頻度観測利用のインパクト	4 1

10:40~11:00 休憩

11:00~12:00 3件 データ同化 II (座長: 川畑拓矢)

和田章義 (気象研) NHM-LETKF による台風予測研究	4 3
川畑拓矢 (気象研) 二重偏波レーダーデータ同化観測演算子の開発	4 5
瀬古弘 (気象研) 航空機 MODE-S データと水蒸気ライダーを用いた同化実験の狙いと初期的な実験結果	4 7

12:00~13:00 昼食

13:00~14:20 4件 数値予報 (座長: 加藤亮平)

三好建正 (理研) 準リアルタイム数値天気予報実験から学ぶこと	4 9
大塚成徳 (理研) 積雲対流の予測可能性に関する 100m メッシュのブリーディング実験	5 1
松林健吾 (気象庁) 水平格子間隔 5km の asuca から見えてきた問題とその解決	5 3
加藤亮平 (防災科研) 局地的短時間強雨に対する気象庁高解像度降水ナウキャストの予測精度検証	5 5

14:20~14:40 休憩

14:40~16:20 5件 雲物理 (座長: 野田暁)

橋本明弘 (気象研) 多次元ビン法 NHM による氷粒子の表現	5 7
野田暁 (JAMSTEC) 固定アンビル温度仮説の上層雲サイズへの依存性	5 9
清木達也 (JAMSTEC) GCM による巻雲のシミュレーション	6 1
中村晃三 (JAMSTEC) ビン法雲微物理モデルの結果を使った暖かい雨のバルク法モデルの改良	6 2
宮本佳明 (理研) 相変化が下層雲の雲セルの間隔に与える影響	6 4

16:20~16:50 総合討論

16:50~17:00 閉会のあいさつ